



## 木南圭映子 Keeko Kiminami

独立行政法人国際協力機構中国国際センター JICA中国 業務第二チーム  
2003年7月～2005年7月、青年海外協力隊の日本語教師として中国江蘇省に派遣  
(2003年3月 教育学部卒業)

### —現在の仕事の内容は？

JICAの国内協力員として、海外ボランティア事業の応募相談から広報物の制作、現地に派遣されている方の後方支援など、ボランティア事業全般に関わる仕事をしています。JICAで働いている人の中で、JICAが実施する海外ボランティアを経験した人間って意外と少ないんですよ。国内協力員は職員ではありませんが、数少ない経験者として、自分にしかできないことを精一杯やっています。



### —卒業後の進路にJICAの青年海外協力隊を選んだのは？

高校生のころから、なんとなく興味はありました。でも、特に熱い思いがあったわけではなく、将来の選択肢の一つというレベル。大学時代には日本語教育を専攻していましたが、自分は教師に向いていないのではないかと感じ、実習などで教壇に立つこともありませんでした。卒業を前に、進路についてずいぶん悩みました。このままでは、一度は興味を持った日本語教育に携わる機会が、これから先、ないかもしれないと思い、青年海外協力隊に参加。それが私の中では一番しっくりくる形だったんです。

### —派遣先ではどんな活動を？

青年海外協力隊の派遣先のイメージは「とても田舎で不便な場所」。でも、派遣された中国江蘇省の都市は、東

ボランティアは貴重な経験。  
将来は国際交流に貢献したい。

広島市よりも都会で驚きましたね。中・高一貫校に日本語教師として派遣され、そのときに初めて教壇に立つことに…。せっかくだから、日本人にしかできない授業をしたいと考え、茶道や華道、三味線を披露したこともあるんですよ。趣味の多さが意外なところで役に立ちました(笑)。この経験から教師という仕事の面白さに気が付き、学生時代にもっと勉強しておけばよかったと思いましたね。

### —海外ボランティアの魅力と今後の目標は？

海外に行く方法はいろいろあると思いますが、青年海外協力隊の特徴は、現地社会の一員となって生活をし、仕事をする点です。現地の人と一番近い目線でいられるというのは、なかなか得られないチャンスだと思います。

海外ボランティアにもう一度行くことは考えていませんが、今後も何らかの形で国際協力や国際交流に携わり、日本人と外国人とをつなぐ役割を担いたいというビジョンを持っています。



※海外ボランティアの募集は春と秋の年2回。興味のある方は、JICA中国(東広島市鏡山 サイエンスパーク内)または募集説明会にお越しください。  
詳細はHP参照: <http://www.jica.go.jp>

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。  
仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことはまたプライベートの話まで。  
私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

# 羅針盤

# OB&OG紹介



### —山口銀行に就職したきっかけと仕事内容は？

自分に自信を持ちたい、社会人として成長したいという気持ちがあったんです。銀行の仕事は、お客様の大事な資産を管理・運用する社会的責任の重いものです。また、老若男女を問わず、さまざまな方が来店されます。そういった方々とお話させていただく中で、自分も成長できるのではないかと、就職しました。現在、入社3年目。防府支店で1年間預金係を経験し、2年目からは西宇部支店に転勤して、貸付係に配属されました。貸付係の仕事も幅が広いのですが、今は主に得意先係がお客様を訪問してご提案させていただいた内容の管理を行っています。

### —大変なところは？ 逆にやりがいを感じる時は？

お客様とお話をさせていただく際に、投資信託やローンなど銀行で取り扱っている商品の知識はもちろん、それ以外の広い知識がないと、ご要望にお応えし、ご満足いただくことはできません。そこが大変ですね。学生時代よりも勉強しないとイケないんですよ。反面、一番やりがいを感じるのはお客様から「ありがとう」と言っていただいたとき。将来は、得意先係になって、本当に喜んでいただけるご提案をしていきたいですね。それが山口県の活性化につながればと考えています。



### —プライベートはどのように過ごしていますか？

週休二日制なので、一日は勉強、一日はしっかり遊ぶようにしています。寮の仲間と飲んだり出かけたりすることが、いい気分転換になっていますね。「遊ぶときは仕事を忘れて思い切り」これが、気持ちを切り替えるコツです。余談ですが、入社前は「銀行員はメガネをかけていて、髪は7:3分の堅物」というイメージを持っていましたが、意外にもノリは体育会系。仕事中は冷静かつ慎重な先輩が、飲み会の席では…(笑)。

### —学生のときにしてよかったと思うことは？

関係する資格をとったり、たくさんの本を読んでおけばよかったと思います。お客様にとって窓口で座る行員は、新



入社員もベテランも同じで、その道のプロとして見られますから。お話を正確に理解するためには、多種多様な知識が必要とされるんです。学生のみなさんも、今のうちにいろいろなことにチャレンジし、多くの人と接する機会をつくってほしいですね。でも、やりたいことが決まったら、それに向けて勉強し、準備しておくことが重要だと思います。



## 藤野誠之 Masayuki Fujino

山口銀行西宇部支店 貸付係(2004年3月 経済学部卒業)

幅広い知識が必要となる仕事。  
学生のときよりも勉強しています。

## 取材を終えて



落ち着いた雰囲気の木南さん。自分のつたない質問にも丁寧に答えてくださいました。「JICAの方はボランティアに熱い方」と勝手にイメージしていましたが、実際にお会いしてみて、その違いに驚きました。将来の可能性がどこに隠れているかは、自分の気持ち一つで見つかるものだを教えていただきました。

取材・記事 / 総合科学部3年 中原 健太



さわやかな笑顔が印象的。藤野さんになら、大事な資産を信頼して預けられるだろうと納得しました。セキュリティのために、窓口の番号札までシュレッダーにかけているという話にはびっくり。それだけ社会的責任の重い、大変な仕事なんだと実感しました。勉強が大変だと笑いながらおっしゃっていましたが、その分幅広い知識を得ることができ、やりがいがありそうだなと思いました。

取材・記事 / 総合科学部4年 内田 奈美